

# 梅雨入り及び大雨に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和5年6月1日(木) 午後3時～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局

鳥取地方気象台、中国地方整備局、警察、自衛隊、  
NTT西日本(株)、  
中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)

\* 副知事、統轄監は別室で参加

\* 各総合事務所、市町村、消防局、自衛隊等には映像配信

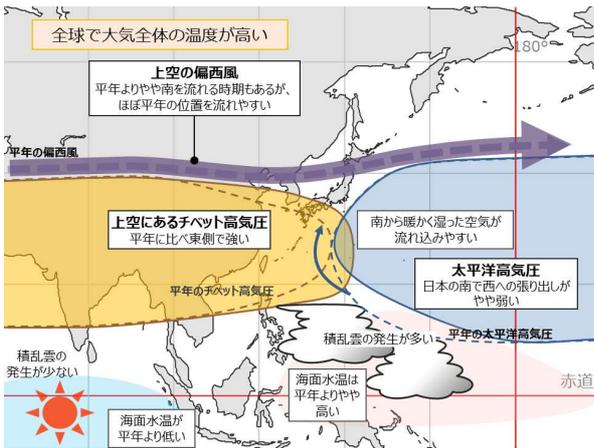
## 【次 第】

- 1 最新の気象状況及び今後の予測等
- 2 市町村・県民への注意喚起等
- 3 警戒・即応体制の確保等
  - (1) 県の体制
  - (2) 各部局の対応

## 梅雨

### 予想される海洋と大気の特徴

「2023年5月23日発表の3か月予報」より



山陰	天候	降水量
6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

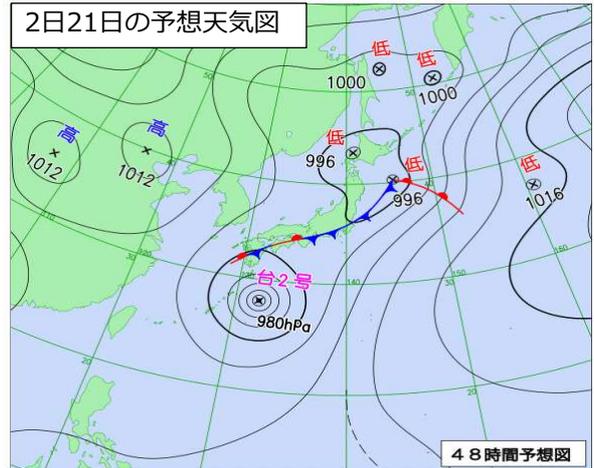
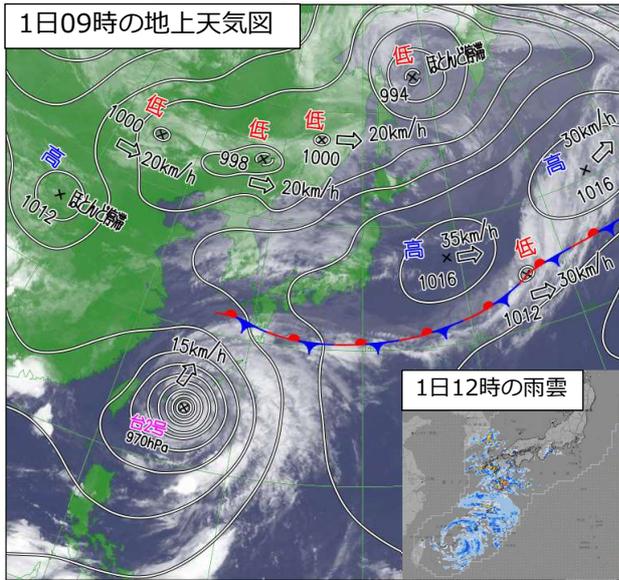
※数字は出現確率を表す

中国地方梅雨入り 5月29日ごろ

全球で大気全体の温度が高いため、水蒸気を含む量が多く、一旦大雨となれば極端な降り方をする可能性がある

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が発生する可能性が高く、上空の偏西風は日本付近で平年よりやや南を流れる時期もありますが、ほぼ平年の位置を流れやすいでしょう。
- 一方、冬に終息したラニーニャ現象の影響が残るため、海面水温はインド洋熱帯域で低く、積乱雲の発生はフィリピン付近から西太平洋の赤道域にかけて多いでしょう。このため、チベット高気圧は東側で強く、東・西日本と沖縄・奄美では暖かい空気に覆われやすい見込みです。
- また、日本の南で太平洋高気圧の西への張り出しがやや弱く、南から暖かく湿った空気が流れ込みやすいため、北・東・西日本では低気圧や前線の影響をやや受けやすい時期がある見込みです。

# 概況



- 東シナ海から日本の南には梅雨前線があって、2日朝にかけて中国地方を北上し、その後、2日夜にかけて南下する見込み。前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込むため、2日にかけて大雨となる見込み。
- 1日12時に宮古島の東南東にある大型の台風第2号は、次第に進路を東よりに変え、3日にかけて日本の南海上を進み、その後温帯低気圧に変わる見込み。

# 防災時系列

6月1日12時 現在

警報級の可能性 [中] の期間：2日未明～夜のはじめ頃

		1日					2日								
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜遅く	
早期注意情報 (大雨)							中	中	中	中	中	中			
大雨(浸水) (ミリ)	東部	0	5	5	30	30	30	30	30	40	40	20	1	0	
	中・西部	0	1	10	30	30	30	30	30	40	40	20	0	0	
大雨(土砂)	東部			★											
	中・西部														
洪水	東部							★							
	中・西部														
風 (メートル)	東部	陸上	8↑	6↑	5↑	5↑	6↑	3↻	2↻	3↑	4↓	4↻	3↻	4↓	2↻
		海上	9↻	7↑	6↑	8↻	9↑	6↑	6↑	5↻	6↻	7↑	6↓	5↻	5↻
	中・西部	陸上	6↑	6↑	5↑	3↑	3↑	3↑	4↑	4↑	5↻	6↑	4↓	3↓	3↑
		海上	9↻	7↑	6↑	8↻	9↑	6↻	6↑	5↻	6↻	7↻	6↓	5↻	5↻
波浪 (メートル)	鳥取県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
雷	鳥取県														

★: 警報発表タイミング    ↻: 警報発表の可能性あり    ☆: 注意発表タイミング    ☆: 注意発表の可能性あり

先日の雨により土壤中の水分量がやや多く、同じ地域で降り続けた場合等は、土砂災害警戒情報（レベル4相当）発表の可能性あり。

- ・1時間降水量 (多い所)  
今日 (1日) 東部 中・西部 30ミリ  
明日 (2日) 東部 中・西部 40ミリ
- ・24時間降水量 (多い所)  
1日12時～2日12時 東部 中・西部 120ミリ  
2日12時～3日12時 東部 中・西部 50～100ミリ

- 梅雨前線が、2日朝にかけて中国地方を北上し、その後、2日夜にかけて南下する見込み。前線に向かって台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込むため、2日にかけて大雨となる見込み。
- 降水のピークは、前線北上の1日夜と前線南下の2日昼前から昼過ぎ。
- 1日12時に宮古島の東南東にある大型の台風第2号は、次第に進路を東よりに変え、3日にかけて日本の南海上を進み、その後温帯低気圧に変わる見込み。
- 先日の雨により土壌中の水分量がやや多く、同じ地域で降り続けた場合等は、土砂災害警戒情報（レベル4相当）発表の可能性あり。
- 南からの暖かく湿った空気がぶつかる山沿いは、十分注意が必要。また、前線活動が活発になる2日の日中は、県内全域で短時間強雨にも十分注意が必要。
- 最新の気象情報に留意してください。

## <防災事項>

- 土砂災害、浸水害、河川の増水、落雷、突風。

5

## <県民のみなさまへ>

- **中国地方は、5/29に梅雨入りしました。**
  - 平年（6/6）より8日、昨年（6/11）より13日早い
- **大雨や台風への備えをお願いします。**
  - 避難所やハザードマップの確認など
  - 大雨で雨水が溢れないように側溝や水路を掃除
  - 強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備え（固定や屋内への収納）
- **2日にかけて、梅雨前線による大雨のおそれがあります。**
  - 前線の北上と台風第2号の暖かく湿った空気により、前線が活発化する可能性があります。
  - **雨への備えは早め**に行なうようにしてください。
- **29日の降雨の影響が残っているので、土砂災害に注意してください。**

6

## 2 市町村・県民への注意喚起等

### (1) 市町村への依頼事項(その1)

#### ■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- 「警戒レベル4」で、**危険な場所から避難すること**
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

○防災タイムラインを活用し、早めの災害対応をお願いします

#### 1 避難情報の発信と周知

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断
  - ※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

7

## (1) 市町村への依頼事項(その2)

### 2 事前の準備

#### ① 浸水リスクが高い地域の対策

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

#### ② 避難情報の判断にあたっての情報収集

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。  
常時オンライン情報共有を行うときは接続をお願いします。

#### ③ 初動体制の速やかな確立

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

#### ④ 迅速な避難体制の確立

避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用、避難所の早期開設 等

#### ⑤ 避難行動要支援者等の支援対策の強化

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

### 3 被害規模の早期把握と迅速な報告

8

## (1) 市町村への依頼事項(その3)

### 4 避難所における感染症への対応について

人が多く集まる避難所では基本的な感染症対策を取ってください

- ①可能な限り多くの避難所を開設
- ②避難者の健康状態の確認
- ③マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底
- ④避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

### 5 避難所における熱中症予防対策の実施

大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけ 等

9

## (2) 県民への注意喚起等(その1)

### 1 最新の気象情報や防災情報に注意して土砂災害や増水などに警戒してください

- 最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- ・警報、注意報等
- ・キキクル（危険度分布）など
- ・台風情報



- 市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- ・避難情報・避難所開設状況
- ・交通情報
- ・道路情報
- ・ライフライン情報 など



#### ホームページ「とりネット」

注意情報などのまとめページを設置  
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

#### 「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信



トリピーメール・なびの登録方法は上記QRコードから

#### 「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ  
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)

- NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。

10

## (2) 県民への注意喚起等(その2)

2 家の周囲の災害リスクや避難場所の確認など早めの備えを始めてください。

(1) ハザードマップで家の周囲の災害リスクやいざという時の避難場所を確認

- ・ハザードマップを探し、自宅が何色の場所にあるかを確認し、避難場所までの避難ルートをチェックしてください。
- ・災害時の避難行動に備えてマイ・タイムラインを作成し、家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。

(2) 大雨への備え

- ・大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報などを入手したら、外出先から早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合い、早めに災害に備えてください。
- ・大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝は掃除しておいてください。

(3) 強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備え

○あらかじめ強風への備えをしておきましょう。

- ・家の周囲にある倒れやすいものなどは、固定するか家の中に入れておく。
- ・窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- ・電柱が倒れて停電・断水になることがあるため、備蓄をしておく。

○強風が吹いている間は注意を怠らないように。

- ・飛散物や転倒による負傷を避けるため、外出はできるだけ控える。
- ・窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

11

## (2) 県民への注意喚起等(その3)

3 防災情報や気象庁の「キキクル（危険度分布）」で近くの川が「紫」なら避難してください。

- ・中小河川の近くでは素早い判断を。（水位が一気に上昇します）
- ・大きな河川では晴れてからも注意が必要です。（雨が止んでからも水位が上がります）

4 土砂災害の前兆現象（裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など）にご注意ください。

5 避難する時は、長靴をはかずに歩きやすい服装で。できるだけ2人以上で行動してください。

- ・冠水している場所や車での避難は危険です。

6 外に出るのが危険な時は屋内で少しでも安全を確保してください。

- ・2階への避難、斜面から離れた部屋への避難など。
- ・屋内での安全確保は最後の手段で絶対的な安全はありません。早めの避難を。

7 避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

- 避難所で感染症にかからない・うつさないため、基本的な感染防止対策をお願いします。

12

## (2) 県民への注意喚起等(その4)

### ○雨が止んだ後や弱い雨のときに災害が発生する危険があります

過去の災害では、河川の氾濫や土砂災害が雨が止んだ後や強い雨が降っていない地域で発生した事例があります。

- ・**土壌に含まれる雨の量が多い場合は、弱い雨や雨が止んだ後でも土砂災害が発生する場合があります。**

【例】 R 3年 7月 3日 静岡県熱海市の土石流

※鳥取県では、「土壌雨量指数」をホームページで公開しています。

<https://d-keikai.sabo-tottori.jp/>

※気象庁では、土壌雨量指数に基づく土砂災害の危険度を

「キキクル（危険度分布）」のホームページで公開しています。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

13

## 3 警戒・即応体制の確保 (1) 県の体制

○大雨警報が発表された場合等、災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

⇒各部局、各市町村におかれては、連絡・即応体制の確保をお願いします

関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設する。

### <大雨時の本県の体制>

- ・ **注意体制** 大雨注意報、洪水注意報などの発表
- ・ **警戒体制(1)** 大雨警報、洪水警報などの発表
- ・ **警戒体制(2)** 土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報の発表  
〔鳥取県災害警戒本部を設置〕
- ・ **非常体制** 大雨特別警報の発表、甚大な被害の発生(又は発生の恐れ)等  
〔鳥取県災害対策本部を設置〕

14

# 3 警戒・即応体制の確保

## (2) 県の対応

### 公共土木施設の対応

#### 1 河川・ダム・砂防

##### (1) 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- 排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。  
(大路川の排水機場整備済(河川整備計画規模相当の整備が完了))
- 樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図っている。
- 河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制を確認済。  
※排水ポンプ車配備台数:東部地区(国3台、県2台)、中部(国4台)、西部(国1台、県1台)
- 高潮には注視のうえ、市町村と連携して、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底する。

##### (2) ダムの管理

- 治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保済。
- なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、必要に応じて事前放流等を実施する。
- ダム放流の実施にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認済。
- 気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。

##### (3) 大呂地区地すべりの監視体制

- 監視体制を強化するとともに、土砂崩落による河川の閉塞等に備え、北股川に排水管を設置済、及び県道の迂回路を整備済。
- 斜面上部からの崩落による、中腹部分の堆積土砂の流出防止対策として、災害関連緊急地すべり防止事業により土留工整備済。

15

### 公共土木施設の対応

#### 2 道路

##### (1) 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

鳥取道及び山陰道については、一定の区間ごとに設定されている基準雨量を超過した場合に事前通行止めすることとしており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。

##### (2) 冠水等への対応

冠水による道路規制に備え、大雨時のパトロールを強化し、冠水が発生した際に速やかに交通誘導等の対応ができるよう、体制を確保する。

#### 3 その他

##### (1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- 現在稼働している工事現場については、現場内の土砂流出や資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底する。
- 線状降水帯による局地豪雨予報(6/1から気象庁運用)を踏まえて、県内全域での大雨等の発生や推移に応じたパトロールや水防活動を行う。

##### (2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

災害発生時等には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請済。

16

# 農林漁業者等への注意喚起

## 1 農業関係

- 農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等へ対策を講じるよう連絡。(6/1)  
[連絡内容] 農作物の管理について(麦、大豆、野菜、花き、果樹、飼料作物、家畜)  
[農作物の状況と現場の対応]

スイカ	トンネル栽培は果実肥大中(6月下旬から出荷予定)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
白ネギ	夏ネギの出荷始め(5月20日から出荷開始、進捗5%程度)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
ブロッコリー	初夏どり作型が出荷中(出荷約6割終了)。排水対策及び降雨前後の防除指導。

## 2 農地・ため池関係

- 大雨に対する防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(5/31)

## 3 林業関係

- 各農林局等から管内事業者及び各市町村に対して土砂災害等の注意喚起を行った。併せて、二次災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけを依頼(5/31)。
- 各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起を行い、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼(5/31)。

## 4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。(5/31)

17

# 公共交通機関の対応

## (1) 公共交通機関の状況(6/1 正午時点)

<航空便・鉄道・バス・フェリー>

現時点で運休を決定したものはない。

※ただし、JR西日本からは夕方以降、運転取り止めの可能性を周知

## (2) 県民等への情報提供

欠航や運休等がある場合は、交通事業者のHPや県HP、あんしんトリピーメール等で県民や観光客に随時、情報提供する。

※ 交通事業者と県との連絡体制を再確認し、情報共有・情報発信の徹底を依頼

18